


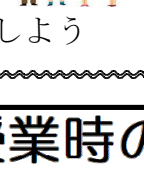


10月は、後期の始まりです。節目の月ですので、気持ちも新たにリスタートをしてほしいと思います。さて、6年生の1年間の半分が過ぎました。この半年間で子どもたちとたくさん学び、たくさん話し、そして、たくさんの成長を感じました。残りの半年間も、子どもたちの大きな成長につながるように毎日の学習や行事について考えていきたいと思っております。

今月から、1年を通して大きな行事である、修学旅行や作品展に向けての活動が本格的に始まってきます。一日一日を大切に、子どもたちを導いていきたいと思っております。

今月も保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

### 10月の学習予定

国語	「心の世界」について考え、自分の考えを伝え合おう	
社会	戦国の世から天下統一へ 江戸幕府と政治の安定	
算数	比とその利用 表を使って考えよう(1) 復習 図形の拡大と縮小	
理科	土地のつくりと変化	
音楽	じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう ききどころを見つけて	
図工	未来のわたし	
家庭	まかせてね今日の食事	
体育	ハードル走 とび箱運動	
外国語	We all live on the Earth.	
道徳	友達とは よりよい学校を目ざして 家族に対する思い 法やきまりを守って	
総合	思い出にのこる修学旅行にしよう	

### 10月の集金

給食費	4,400円
PTA会費(10月分)	110円
未来のわたし一人の芯材	400円
Kクレイ・L	330円
手数料	11円
<b>合計</b>	<b>5,251円</b>

※ 10月6日(金)に指定の口座から引き落としをさせていただきます。口座残高の確認をよろしくお願いいたします。

※ 卒業アルバムについてお知らせいたします。今年度から、卒業アルバムの代金は保護者の方が業者に直接支払う形になりました。修学旅行費の支払いと同じよう形ではありますが、卒業アルバムの代金は郵便局で支払う形になります。金額につきましては必要となる手数料が分かり次第、学年便りでお知らせいたします。ご理解いただきますようお願いいたします。

### 体育の授業時の服装について

体育の授業時では、寒冷時に上着を着て学習を受けることが可能です。

持たせる上着は、フードが付いてない物、着脱しやすい物にしてください。また、体育の授業ではタイツやスパッツは着用しません。タイツやスパッツを履いてくる場合は、替えの靴下を用意してください。よろしくお願いいたします。また、長ズボンも着用できます。着用する場合は、上着と同じで、運動に適した素材のものをご用意ください。



## 教育相談週間について

10月6日(金)～11月2日(金)の4週間は、教育相談週間になります。子ども一人一人と話す時間を設けて、じっくり話をしたいと思います。たわいもない雑談をすることや、悩み事や不安なことを聞く中で、子どもたちとの人間関係を構築したり、ヘルプサインを受け取ったりすることで、今後の指導や問題解決に役立てたりすることにつなげていきたいと思っています。また、これからもヘルプサインを見逃さないように気を配っていききたいと思います。



## 9月の子どもたちを見ていて

夏休みが明けて1か月が経ちました。子どもたちを見てみると、1学期と比べて顔立ちだけでなく、精神的にも成長した様子が見られます。

具体的によい様子だと思ったことを伝えます。



- ・ 廊下で教師とすれちがった時にあいさつをする子どもが多いこと。
- ・ 授業と休み時間の気持ちの切り替えが早くなった子どもが多いこと。
- ・ 教師から指導を受けたり、友達とケンカをしたりして気持ちが沈んでしまった状態を長く引きずらず、早めに切り替えができる子どもが増えたこと。

この学年の子どもたちのよさは素直さです。ただ、よいとは思えない子どもたちの様子も見かけました。そこで、今回話題に挙げたいのは、「子どもたちのコミュニケーションの仕方」や、「仲間との関係作り」についてです。

仲間の中だけで通じる言葉や合図を使うことや、極端に似た服装をすることは、その仲間の中で特別なつながりが生まれます。ですから、一見とても仲がよいように映ります。もちろん、仲がよいことはとてもよいことだと考えます。でも、本当に仲がよいだけでしょうか。「一人だけちがう発言、格好、行動をしたら仲間じゃなくなってしまう」といった強迫観念から行動をしている子どももいるのではないのでしょうか。



さらに今回は、仲間同士で同じ行動をとることについて言及します。

例えば「一人の子がある特定の子を避けたら、他の子も避ける」といった行動を行っていたとします。仲間がやっているなら何でもやっていいのでしょうか。仲間がいけないことをしているのなら、その仲間を止める。とはいえ、止めることは難しいかもしれない。ならば、せめて自分は同じ行動は取らないでいて欲しいと思います。強迫観念



にかられて行動をする子どもたちの気持ちは分かりますが、やられた側の子どもたちのことを考えると、容認できることではありません。5年生の学年便りでも同じようなことをお伝えしましたが、改めて話題に挙げさせていただきました。

2学期には作品展や修学旅行といった行事があります。これらの行事を通して子どもたちの成長を促していくためにも、仲間との付き合い方などについて指導を重ねていきたいと思っています。子どもたちの素直さを生かして、これからの学習や成長につなげていきたいと思っています。今後も子どもに分かりやすい話し方、伝わりやすい表現を用いて指導をしていきたいと思っています。